

# 雇用形態別賃金格差

～正規・非正規の格差の拡大・縮小～



中京大学 増田ゼミ 3年 E班

森健太郎 横山秀謙 佐脇健太

中野雄斗 加藤寛之 広田直人

# アウトライン

---

研究対象の概要

---

Question

---

先行論文

---

分析

---

まとめ

---

---

# 研究対象の概要

- ①雇用形態の定義づけ
- ②それぞれのメリット・デメリット
- ③欧米と比較した日本の労働賃金理念
- ④近年の政策

# ①雇用形態の定義づけ

## 正規雇用

- ・会社に直接雇われている
- ・フルタイムで労働
- ・期間に定めがない

例

正社員

## 非正規雇用

- ・労働時間が短い
- ・期間を定めた契約

例

契約社員    パートタイマー  
派遣社員    アルバイト

## ② メリット・デメリット

### 正規雇用～デメリット

- ・残業
- ・休日出勤
- ・責任が重い
- ・転勤などによる移住

### 非正規雇用～メリット

- ・労働時間の指定
- ・休暇の取得のしやすさ
- ・責任が軽い
- ・勤務地の自由

## ② メリット・デメリット

### 正規雇用～メリット

- ・賞与 & 昇格あり
- ・雇用の安定
- ・保険の加入
- ・福利厚生 of 充実

### 非正規雇用～デメリット

- ・賞与 & 昇格なし
- ・雇用の不安定
- ・賃金が安い
- ・社会的信用の低さ

# ③日本と欧米の労働賃金理念

## ・日本

同一能力同一賃金



職能給

日本では年功序列の概念など  
職務内容ではなく年齢や肩書により賃金  
が決まる。

## ・米国

同一労働同一賃金



職務給

欧米では同一の職務内容には  
雇用形態にかかわらず  
同じ賃金が支払われる。

日本では雇用形態に  
よって賃金の格差が  
発生する！！！！

## ④近年の政策

2015年 **パートタイム労働法改正**

正規と非正規社員の差別的取り扱い減少

2016年 **ニッポン一億総活躍プラン**

同一労働同一賃金の実現を含む



雇用形態別の賃金格差縮小へ！！



# Question

問：日本の賃金格差は減少しているのか？

# 先行論文

- 太田 清((株)日本総合研究所主席研究員)(2006)  
雇用改善の明暗『非正規雇用と労働所得格差』
- 奥西 好夫(法政大学教授)(2008)  
労働契約法と改正パート労働法『正社員および非正社員の賃金と仕事に関する意識』

# 分析

## \* データの分類

データを均すため  
右の3つの条件に揃え、  
それぞれの正規・非正規の  
格差を調査

学歴別

企業規模別

年齢別


# 分析

## \* データの処理のプロセス

正規雇用者・非正規雇用者の賃金データを  
それぞれの分類ごとに入手



非正規雇用者の賃金を100に設定し、  
その時の正規雇用者の賃金を数値化



その数値を折れ線グラフを使用し分析

# 分析～学歴別～

## 使用データ

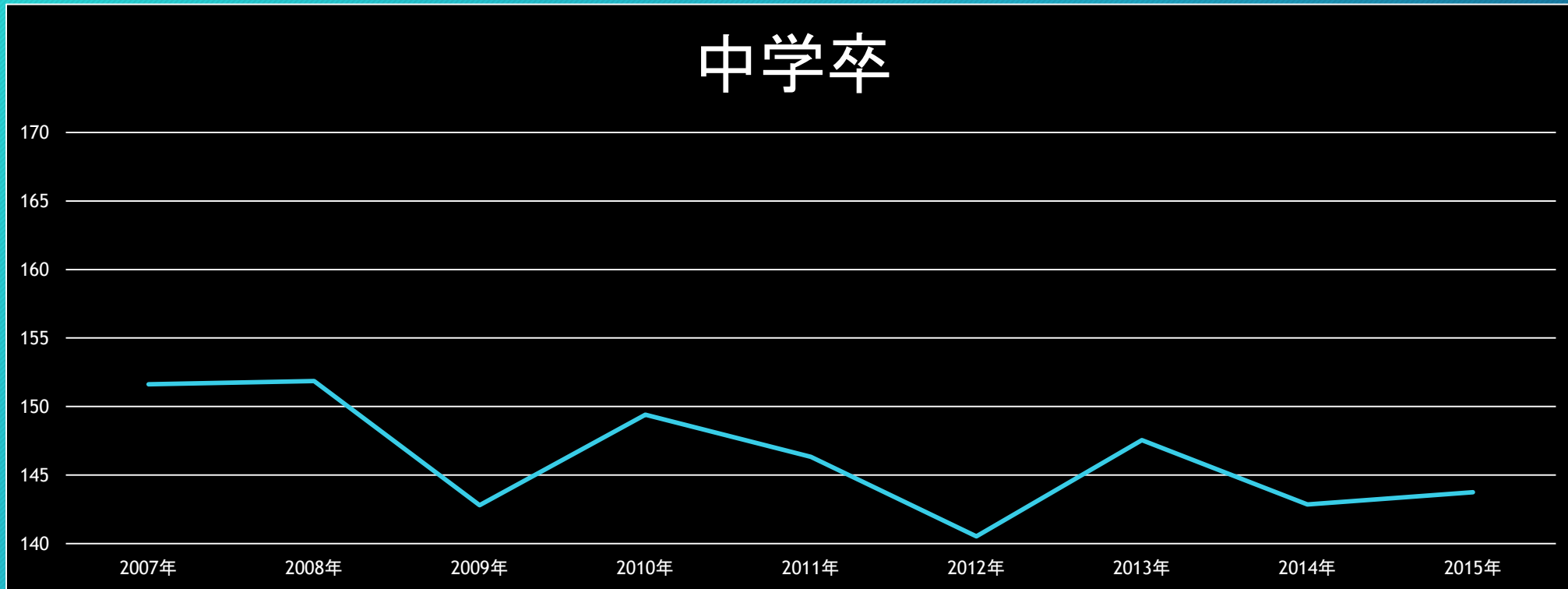
- ・データ: 決まって支給する現金給与額
- ・分類事項: 学歴 雇用形態
- ・分類区分: 中学卒/高校卒/高専・短大卒/大学・大学院卒
- ・年次: 2007～2015年

\* 参照元 \* 独立行政法人労働政策研究・研修機構

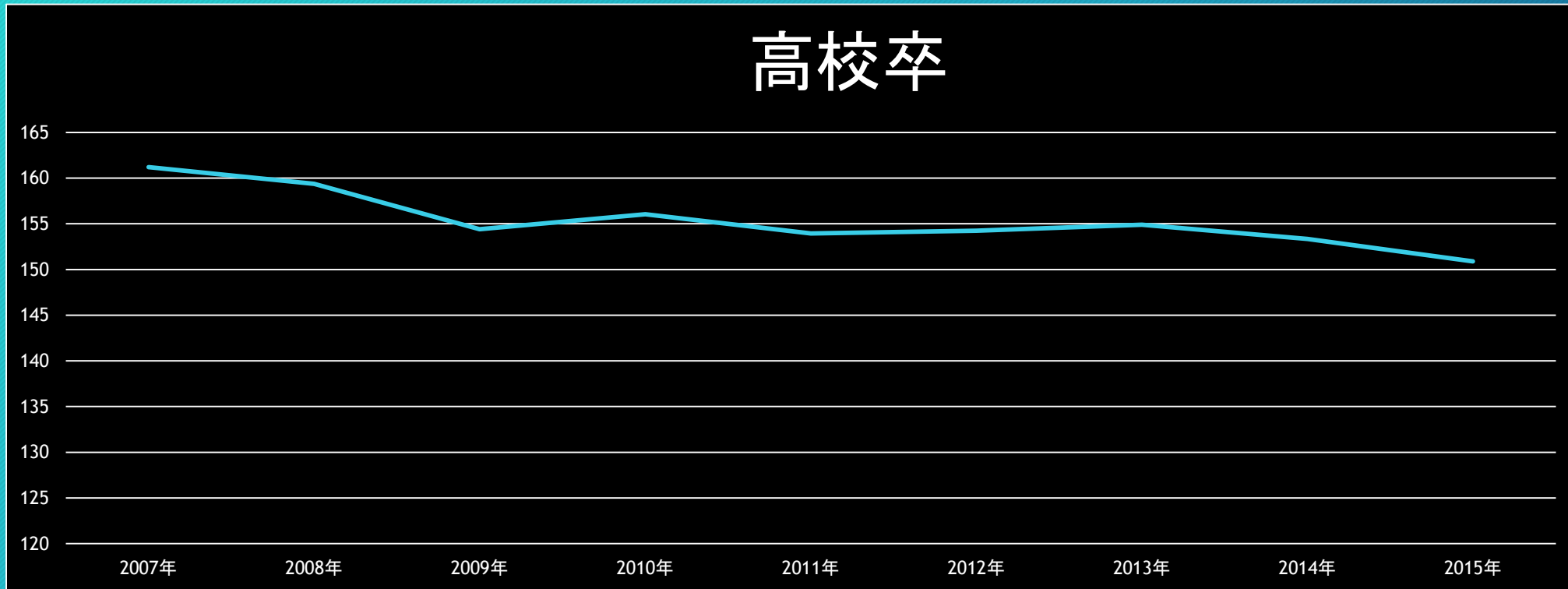
URL <http://stat.jil.go.jp/>

- ・調査名: 賃金構造基本統計調査

# 分析～学歴別～

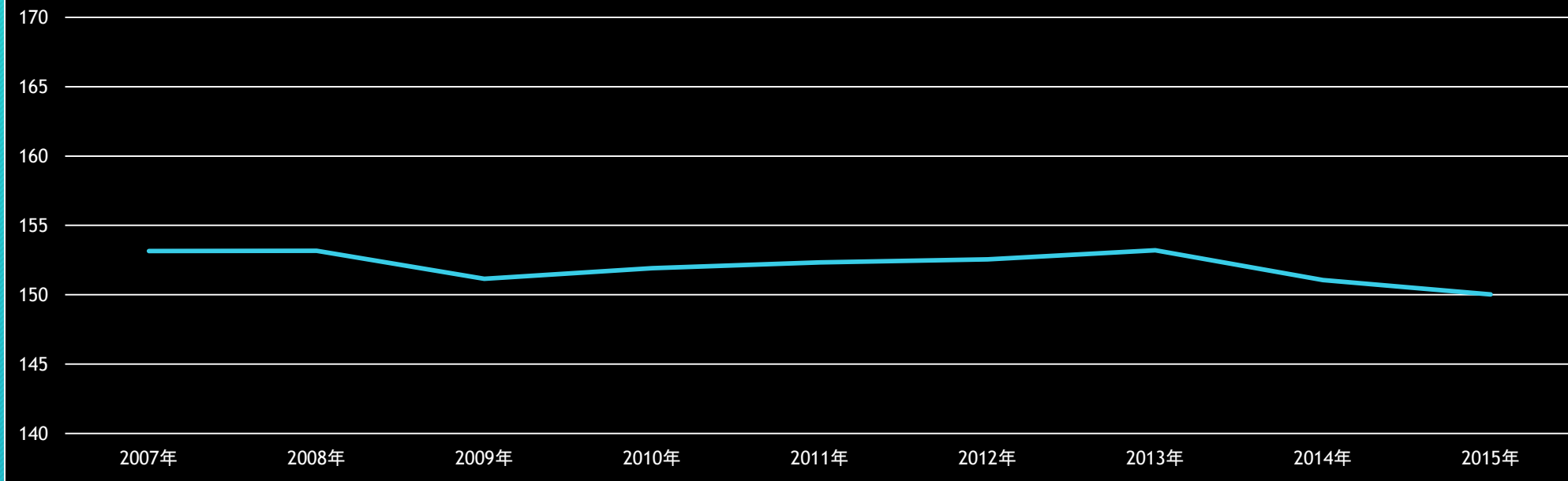


# 分析～学歴別～



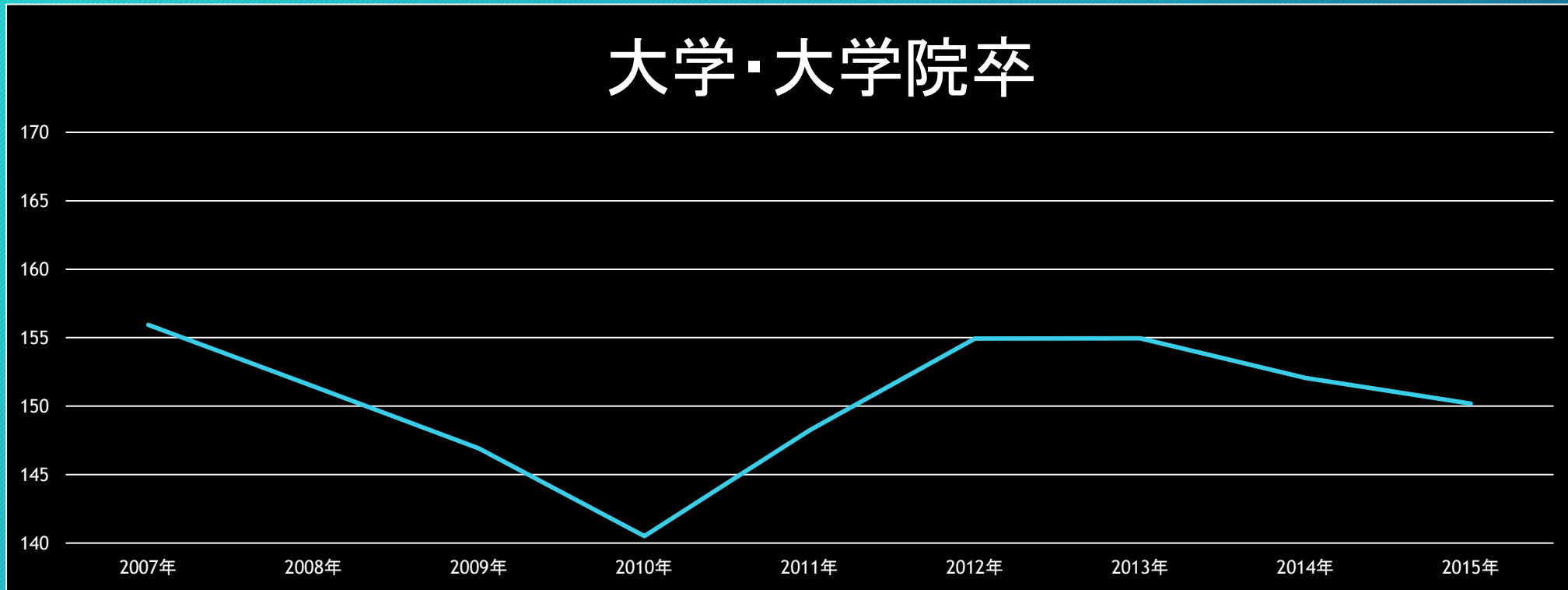
# 分析～学歴別～

## 高専・短大卒

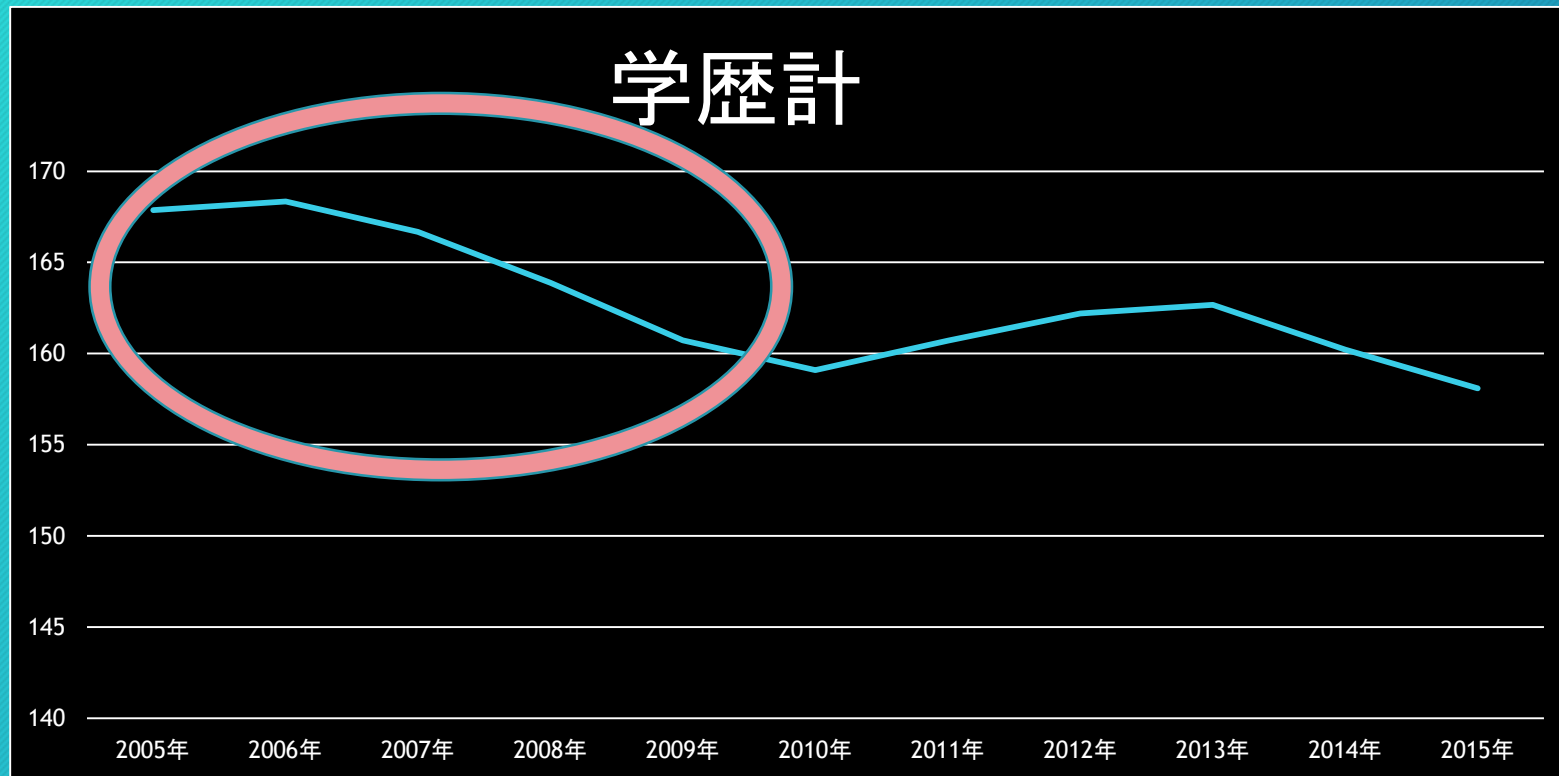




# 分析～学歴別～



# 分析～学歴別～



・2005～2009年まで  
正社員の賃金が下落傾向

# 分析～企業規模別～

## 使用データ

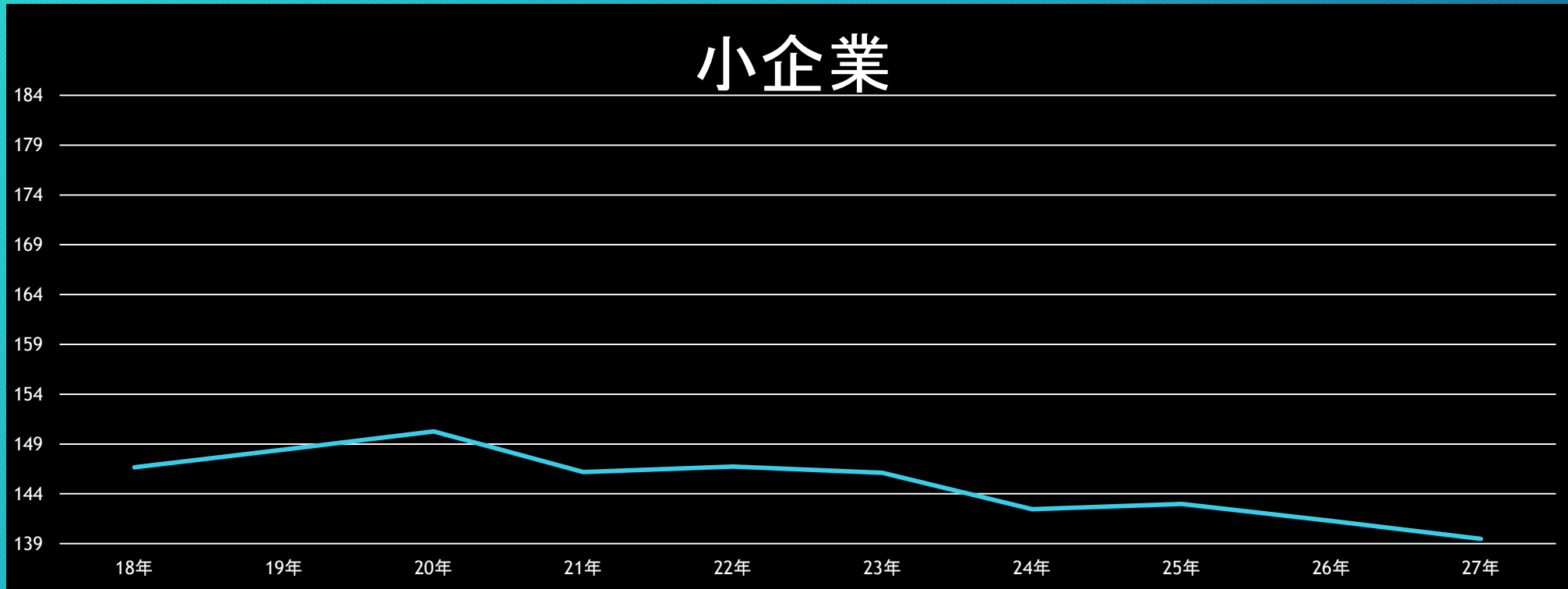
- ・データ: 決まって支給する現金給与額
- ・分類事項: 企業規模 雇用形態
- ・分類区分: 小企業/中企業/大企業
- ・年次: H18～H27年

\* 参照元 \* 厚生労働省

URL <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/chinginkouzou.html>

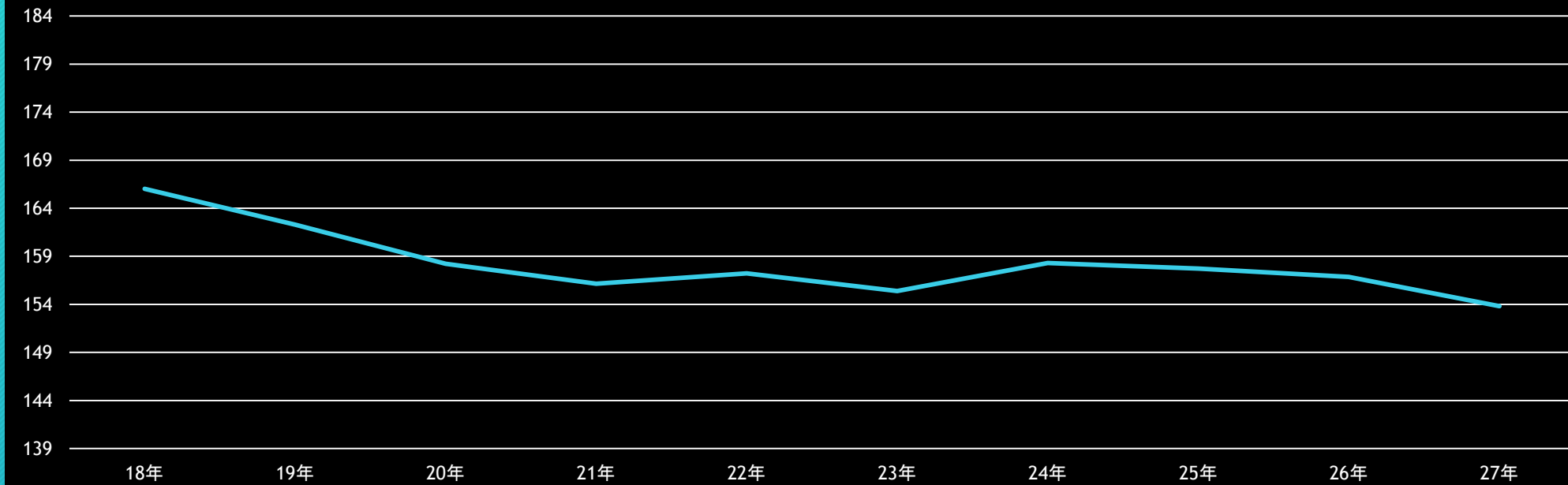
- ・調査名: 賃金構造基本統計調査

# 分析～企業規模別～

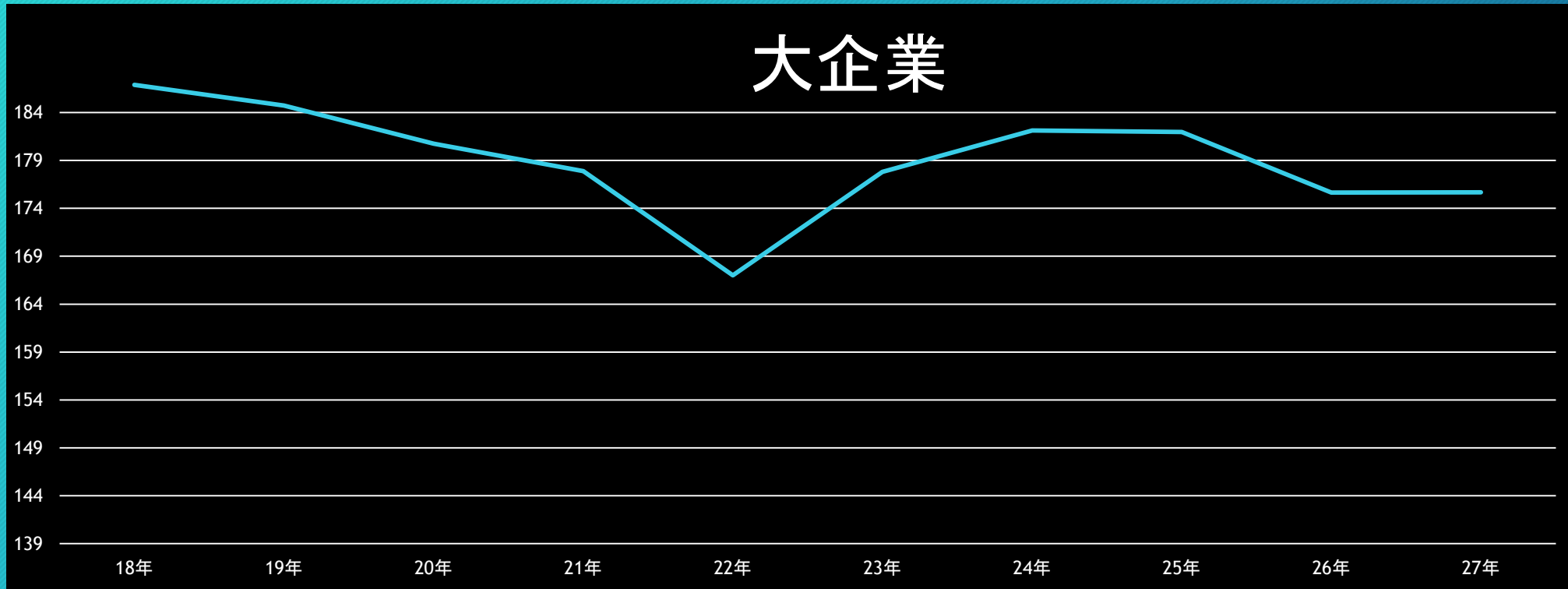


# 分析～企業規模別～

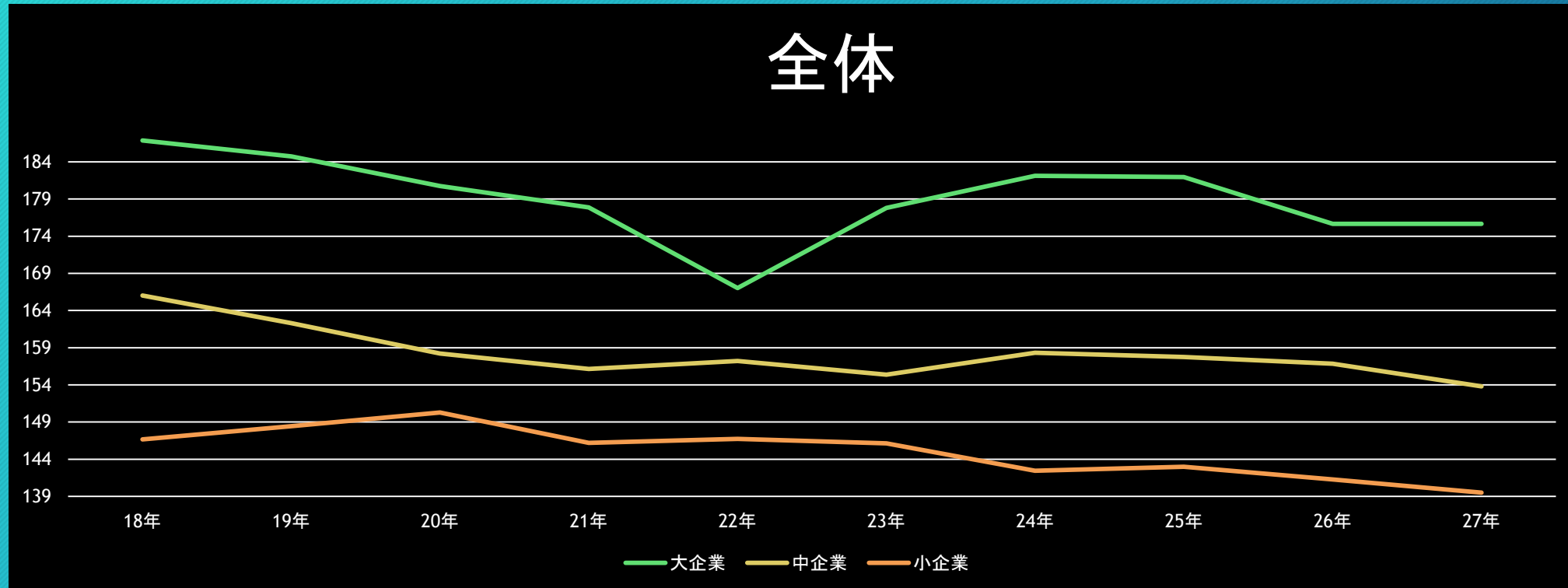
## 中企業



# 分析～企業規模別～



# 分析～企業規模別～



# 分析～企業規模別～

数値:賃金格差

=正社員の賃金－非正規社員の賃金

企業規模が大きくなればなるほど数値が大きい！！

	18年	19年	20年	21年	22年	23年	24年	25年	26年	27年
企業規模計	127.8	125.3	121.7	115.8	113.4	116.9	120.6	119.4	117.4	116
大企業	177	173.8	164.9	159.6	147.3	163	168.3	167.7	161	162.9
中企業	122.8	117.2	113.5	108.7	110.4	108	113	110.1	109.8	107.9
小企業	87.2	90.1	92.7	85.3	85.7	84.4	80	81.8	79.5	77.4



# 分析～年齢別～

## 使用データ

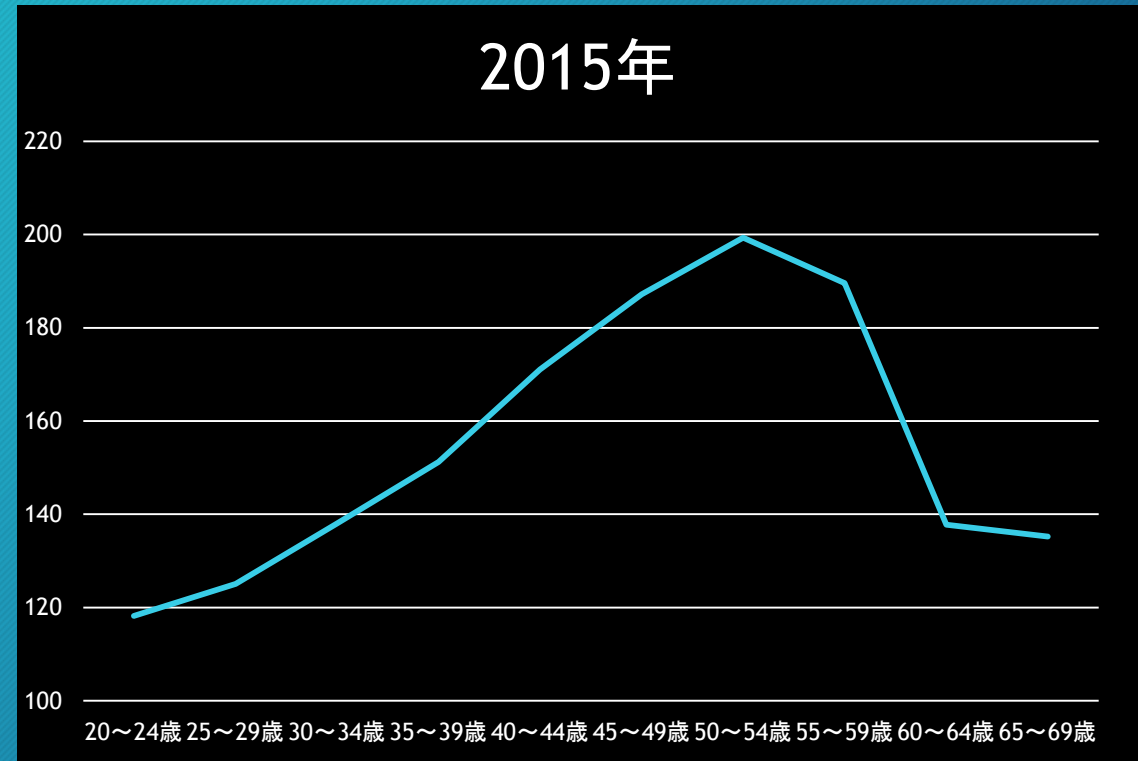
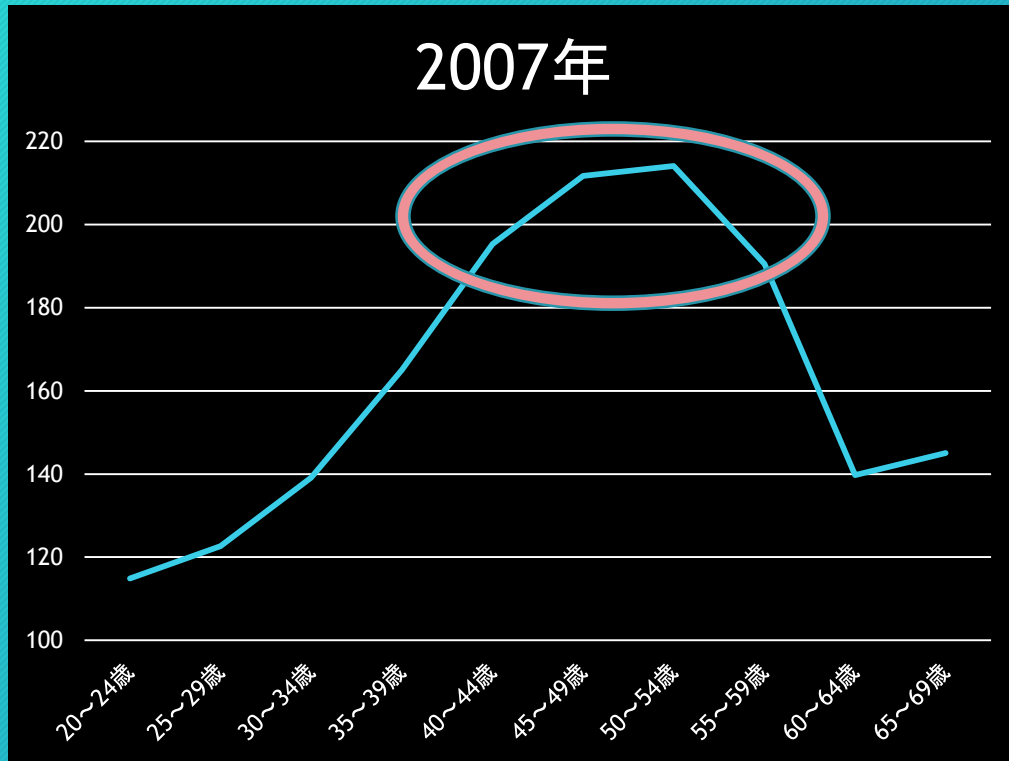
- ・データ: 決まって支給する現金給与額
- ・分類事項: 年齢別 雇用形態
- ・分類区分: 20～69歳(5歳区切り)
- ・年次: 2007年 2015年

\* 参照元 \* 厚生労働省

URL <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/chinginkouzou.html>

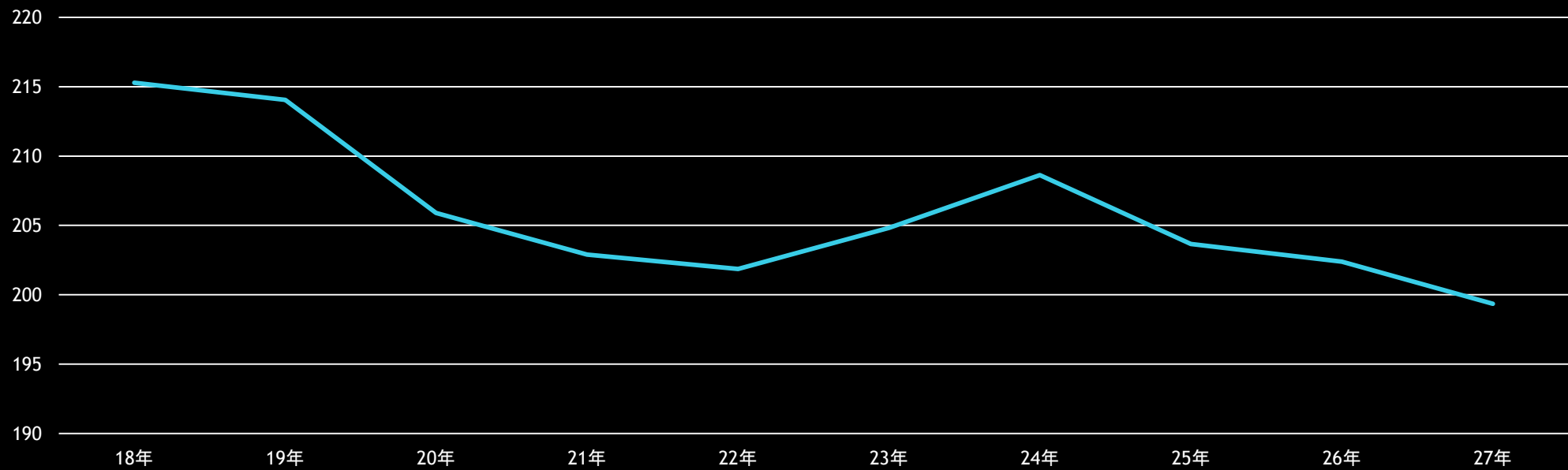
- ・調査名: 賃金構造基本統計調査

# 分析～年齢別～



# 分析～年齢別～

## 50歳～54歳



# まとめ

## 学歴

- 概ね減少傾向
- 高校卒の格差が一番大きい

## 企業規模


- 概ね減少傾向
- 規模が大きくなるほど格差が広がる

## 年齢

- 概ね減少傾向
- 50代まで年齢を重ねるにつれ正規の賃金は上がっていく

# まとめ

学歴・企業規模・年齢



正規雇用者と非正規雇用者の  
賃金格差は年々減少傾向に  
あるといえる！！

# 出典

・厚生労働省ホームページ

( <http://www.mhlw.go.jp/toukei/list/chinginkouzou.html> )

・総務省統計局

(<http://www.stat.go.jp/>)

・独立行政法人労働政策研究・研修機構

( <http://stat.jil.go.jp/> )

ご清聴ありがとうございました。